令和５年度とくしま流域水懇談会
開催結果

東部地域・南部地域・西部地域Ｗｅｂ同時開催
日時：令和６年２月７日（水）
午後２時～３時４０分
場所：徳島県庁（東部）
南部総合県民局阿南庁舎（南部）
西部総合県民局三好庁舎（西部）

【概要】

令和５年度とくしま流域水懇談会では、とくしま流域水管理行動計画について、今年度までに策定した計画の取組状況や新たに策定した計画（河内谷川）について会員に報告し、意見を伺うとともに、今後も本計画を推進していくことを確認した。

【意見要旨】

■東部地域

・地元の方が活動に参画していることは、とてもよい。
・地元の方が河川巡視をする中で、どのような異常があれば報告するのかなど、一定の基準があればよい。
・特定外来生物が新たに繁茂しているなど専門知識がないとわからないようなものについては、マニュアルがあればわかりやすい。
・地域住民の声に触れることが多い地元企業や商工会と連携して取組を実施すると、地域の声を反映しやすい。
・特定非営利活動法人が国の委託を受け、ボランティア収集や企業とのマッチングをするなどのコーディネートをしている事例がある。このコーディネートを実施する団体を体制に入れるのもよいのではないか。

■南部地域

・地震などの防災学習については、幼少期から必要だと思うので、全学校で学習ができるようになればいい。
・今回の懇談会は、各会場を繋いでのＷｅｂ形式であり、初めての試みであるとのことであるが、今までどおり各地区ごとに対面で実施する方がわかりやすい。
・行動計画の流域区分について、吉野川は上下流に区分されているが、那賀川は一区分でまとめられているので、吉野川のように上下流で分けてほしい。

■西部地域

・水を感じてもらえるイベントなどを通じて、川のきれいなところ、危険なところなど、様々な川のことを次世代に引き継ぐことが大切。
・川に行ってはいけないと学校で決まりがあり、水に触れる機会がなく水の良さも危険性もわからないので、水教育が必要。